

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
			○	

事務事業No 511 事業名 地方道整備事業（坂田磯の浦線、市駅小倉線、西脇地内線等）

〔事業基本情報〕

分野別目標	4	自然環境と都市基盤が調和した快適なまち
政策	1	道路網の整備
施策	2	生活道路の整備
基本方針	1	道路の新設・改良の推進

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務
	その他	○	
会計・予算区分	会計		一般会計
	款		土木費
	項		道路橋梁費
	目		地方道整備事業費
	大事業		地方道整備事業
	事項		地方道整備事業（単独）

事業種別	継続	主な事務事業
事業期間		～
事業実施の根拠法令	道路法	道路構造令
関連個別計画		
担当課・担当課長 (Tel)	道路建設課	且来 明 435-1087
関連課		

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
	○			
44の約束	企業間競争環境の整備（高速道路へ10分以内アクセス）			

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする）ための事業か） 主要幹線道路を結ぶ市道を拡幅することにより、交通渋滞を少なくし、地域経済の向上を図る。	事業内容 物件補償、用地買収、測量業務委託、工事他				
	実施内容	平成25年度 坂田磯の浦線 岩橋地内線 小倉178号線 名草136号線 市駅小倉線 海草橋島崎町線 市駅湊線 西脇277号線	平成26年度 坂田磯の浦線 岩橋地内線 小倉178号線 市駅小倉線 海草橋島崎町線 市駅湊線 西脇277号線 紀の川右岸関連道路 中島第三踏切 杭ノ瀬坂田線	平成27年度 坂田磯の浦線 岩橋地内線 市駅小倉線 海草橋島崎町線 市駅湊線 西脇277号線 紀の川右岸関連道路 中島第三踏切 杭ノ瀬坂田線	平成28年度 坂田磯の浦線 岩橋地内線 市駅小倉線 海草橋島崎町線 市駅湊線 西脇277号線 紀の川右岸関連道路 中島第三踏切 杭ノ瀬坂田線	平成29年度 坂田磯の浦線 岩橋地内線 市駅小倉線 海草橋島崎町線 市駅湊線 西脇277号線 紀の川右岸関連道路 中島第三踏切 杭ノ瀬坂田線

2 事業コスト

	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算	計画	決算
事業費	554,972	481,008	944,406		760,000		1,331,700		1,721,000	
伸び率 (%)	-	-	70.2%		-19.5%		75.2%		29.2%	
人件費	常勤職員	55,988	58,196	58,196	58,196		58,196		58,196	
	非常勤職員	1,206	1,204	1,204	1,204		1,204		1,204	
	小計	57,194	59,400	59,400	59,400		59,400		59,400	
国庫支出金	148,150	132,830	382,045		292,650		604,035		796,675	
県支出金	82,000	74,480	0							
市債	288,100	255,000	558,000		420,615		654,899		831,893	
その他										
一般財源（税等）	36,722	18,698	4,361		46,735		72,767		92,433	
所要人数	常勤職員	7.55	7.66	7.66	7.66		7.66		7.66	
	非常勤職員	0.57	0.57	0.57	0.57		0.57		0.57	
主な予算内訳	委託料54,744千円、工事請負費676,700千円等									

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	単位	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度						
成果指標	事業進捗状況（測量等委託、工事等）				年度目標値	423,400	839,444	760,000	1,331,700	1,721,000
					実績値	424,281				
	単位	千円	全体目標値	5,075,544	全体目標達成度	836.0%	年度別達成度	100.2%		
					年度目標値					
				実績値						
				年度目標値						
				実績値						

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>厳しい財政状況と和歌山市全体の人口が減少傾向にある中、和歌山市全体の事業ニーズは横ばいといえる。また、上位施策への貢献度が高い事業や国の補助事業を優先したうえで、事業の選択を厳しく行い、効果の検証を十分に行う必要がある。</p> <p>方向性としては現状維持である。</p>
「見直し」 「改善」案	<p>事業効果の高い路線の選別を行い、事業に優先順位をつけて予算の平準化をしたうえで、緻密な長期計画を策定することが必要である。</p>